自分と家族の

いのちを守る防災 vol.2 津波に備える

11月5日は何の日？

安政南海地震の際、和歌山の濱口梧陵（はまぐちごりょう）が稲束に火をつけて津波を知らせ、多くの人を救ったという逸話から「津波防災の日」と定められ、更に日本が提案し国連総会で決議された「世界津波の日」でもあります。この特別な日を前に津波の被害をできるだけ少なくするため十分に備えましょう。

事前に調べる⇒津波ハザードマップを活用

⚠危険な場所は？

自宅や職場、よく行く場所や、通る道が「津波浸水想定区域」かどうかを調べる。
→マップの「最大浸水深」の色分け表示で津波の深さが最大どのくらいかを確認

⚠どこへ逃げるのか？

避難場所を確認する。
→マップ上の一時避難場所などの高台を確認

⚠どの経路で逃げるのか？

津波浸水想定区域を避け、避難経路を設定する。
→緊急時には崩れたブロック塀などで、通路が塞がれる可能性があるので、経路の障害になりそうなものがないかも確認

津波が来る？⇒すぐに安全に避難しよう！

⚠情報を待たずに、揺れたら逃げる

まず避難。その後、「テレビ放送・インターネット・防災行政無線・志摩市公式LINEや気象庁のホームページ」などで状況を確認（SNSなどのデマに注意）

⚠津波は繰り返し襲ってきます

津波到達後も、警報・注意報が解除されるまで気を緩めず、避難を続けてください。津波警報が出ている間は絶対に戻ってはいけません。

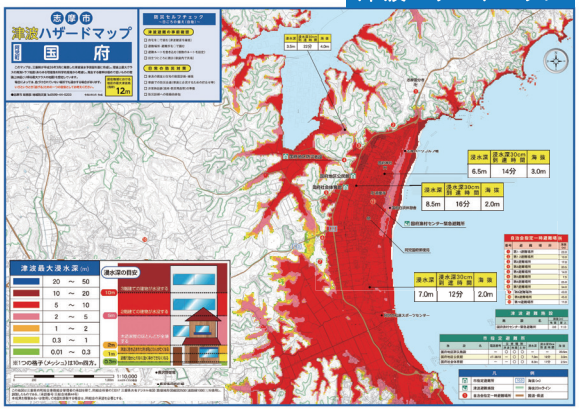
避難経路は実際に歩いて、危険がないか事前に確認するといいよ！

あおサ～

令和6年度 三重県・志摩市・鳥羽市総合防災訓練

南海トラフ地震を想定し、三重県や関係機関と連携した大規模な防災訓練を実施します。各会場では、企業などによる展示や自衛隊による炊き出しを実施しますので是非お立ち寄りください。12月8日（日）8時45分～11時30分
メイン会場：旧国府小学校※各地サブ会場や駐車場案内などの詳細はホームページへ

津波ハザードマップ



ハザードマップの確認方法

- 志摩市ホームページ
- 市役所 または 各支所窓口
- 志摩市公式LINE

志摩市公式LINE

マップには津波浸水深30cmの到達時間が表示されているので、参考にしてね！

しまこさん

志摩市
防災危機管理室
☎0599-44-0203